

令和6年2月9日

東部農林水産振興センター安来農業部

標 題	～島根の農業は東から～ 農業の将来について安来地方農業士会と島根県農林水産部長が意見交換
-----	---

(ダイジェスト)

2月1日に安来地方農業士会の令和6年総会・研修会が開催されました。研修会では「農業現場が抱える課題と将来に向けての取組」と題して野村農林水産部長との意見交換が行われました。当日は農業士をはじめ、研修生や関係機関など約30名が出席し活発な意見交換となりました。

令和6年2月1日(木)に令和6年安来地方農業士会総会が鷲の湯温泉「夢ランドしらさぎ」にて開催されました。総会終了後には、研修会が開催され、農業士10名、新規就農者・研修生7名、関係機関10名の参加がありました。研修会では、「農業現場が抱える課題と将来に向けての取組」と題して野村農林水産部長との意見交換が行われました。

冒頭、農業士会寺田会長から、「昔から島根の農業は東からとよく言われていた。安来の農業が盛り上がることで、島根県全体の農業が盛り上がることに繋がるだろう。」とのあいさつがありました。意見交換では、野村農林水産部長より令和2年度にスタートした島根県農林水産基本計画の概要の説明がなされた後、各出席者より自身の農業経営や研修状況、抱えている課題等について発言されました。農業士からは、物価高騰による経営費の上昇や販路の拡大、農産物の適正価格での取引についての発言が多く聞かれました。また、将来自営就農を目指す出席者からは、「非農家で自己資金も多くなく、一から農業を始められるか不安がある。」との意見も上がりました。これに対し、野村農林水産部長からは、「販路については、それぞれの経営体ごとに最適な方法を探る必要がある。若い方には様々な経験を積まれることも良い経験になる。新規就農時には多くの支援が用意してあるので活用してもらいたい。」との回答がありました。研修会は、短い時間ではありましたが、活発に意見交換が行われました。研修会終了後には出席された農業士から、「近年になく、活発な研修会となった。」「農林水産部長との意見交換が実現し、安来の農業の現状を知ってもらう良い機会となった。」などの声が多く聞かれました。なお、研修会終了後には、懇親会が開催され、意見交換の第2部となりました。

当農業部では、安来地方農業士会の事務局として、総会・研修会の運営や事前の役員会等の調整について支援しました。今後も農業士会の活動をはじめ、農業士と就農希望者とのマッチング等を行い、管内の農業が持続的に発展していくように支援していきます。

